

## 2009年度活動報告

### 第9回日本安全保障貿易学会研究大会終了

第9回日本安全保障貿易学会研究大会は、2009年9月27日（日）に早稲田大学にて開催され、当日は約100名の参加者があった。今回は、自由論題への応募がなかったため、午後の部のみの開催となった。午後の部は、共通テーマに「輸出管理の新動向」を掲げ、第1セッションでは最近特に関心が高まっている大学における輸出管理を含めた「技術の輸出管理」を取り上げ、また午後の部の第2セッションでは「ヒトとカネをめぐる経済制裁と輸出管理」について発表が行われた。午後の2つのセッションを通じて、輸出管理の現状や課題などについての報告に続き、フロアからも多くの質問・意見が出され、産、学、官を交えた白熱した議論が展開された。いずれのテーマも、輸出管理の新たな動向を扱った現実に即したトピックであり、密度の濃い議論が行われたことが印象的であった。

2009年10月

日本安全保障貿易学会 会長 村山裕三



会場風景

日本安全保障貿易学会 第9回研究大会プログラム

日時：2009年9月27日（日）13：30～17：30

会場：早稲田大学 早稲田キャンパス18号館 国際会議場3階 第1会議室  
(東京都新宿区西早稲田1-6-1)

アクセス：<http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>

共通テーマ：「輸出管理の新動向」

第1セッション：「技術の輸出管理」 13：30～15：30

報告者：飯田 圭哉氏（経済産業省）

「外国為替及び外国貿易法の改正について」(Amendment of The Foreign Exchange and Foreign Trade Act)

報告者：稲村 國康氏（東芝）

「東芝における技術の輸出管理」(Technology Transfer Controls in Toshiba)

報告者：鈴木 寿氏（中央大学）

「大学における高度技術の不適切な海外流出を防ぐ実効的方策」  
(Effective Measures to Prevent Improper Overseas Drain of Advanced Technologies in University)

討論者：平井 進氏（東北大学大学院）

司会：村山 裕三氏（同志社大学）

休憩 15：30～16：00

第2セッション：「ヒトとカネをめぐる経済制裁と輸出管理」

16：00～17：30

報告者：山本 武彦氏（早稲田大学）

「経済制裁と輸出管理－経済制裁の過去・現在・未来と輸出管理」  
(Economic Sanctions and Export Control: The Past, and Current Lessons of Economic Sanctions and the Future Role of Export Control)

報告者：尾崎 寛氏（三井住友銀行）

「経済制裁の日米比較～マネーロンダリング規制を例にして」  
(Economic Sanctions Enforcement Framework: A Comparison between the US and Japan)

討論者：河本 志朗氏（公共政策調査会）

司会：浅田 正彦氏（京都大学）

## 第17回アジア輸出管理セミナー 学会との交流セッション終了報告

日本安全保障貿易学会は、1月26日(火)～1月28日(木)に東京で行われた「第17回アジア輸出管理セミナー」の1月28日午前の部において、「学会と参加各国政府関係者との交流セッション」を開催した。一昨年から数え3回目となる今年度の交流セッションでは、基調報告として「大学の機微技術管理」の紹介の後、学会専門家から日本の外交・安全保障政策及び経済政策の中で安全保障輸出管理が果たす役割についての報告がなされ、アジア輸出管理セミナーの参加者との自由な討論を通じて積極的な交流が行われた。会場からは多数の質疑があり関心の高さが伺え意義深い意見交換ができた。

本セッションには学会からは30数名の会員が参加したが、今後も引き続きこのような機会を活用し学会活動の国際展開を進めていきたい。

なお、学会セッションの最後に、国連安保理制裁委員会専門家パネル (Panel of Experts Security, Council Resolution 1874(2009))としてセミナーに参加した浅田正彦会長が挨拶を行った。

日本安全保障貿易学会副会長 青木節子



第17回アジア輸出管理セミナー 学会との交流セッション  
パネルディスカッション

第17回アジア輸出管理セミナー 学会との交流セッション アジェンダ

Agenda ---- Day 3, Thursday January 28, 2010		
Morning Session      Venue: Grand Ballroom Daigo (B2Floor)		
Theme 7: An Interaction session with Japan Association of International Security and Trade		
09:30 - 09:45	Keynote Speech  “ <u>Sensitive Technology Control at Universities</u> ”	<i>Dr. Setsuko AOKI, Vice-President, Japan Association of Security Export Control(JAIST) Professor, Faculty of Policy Management, Keio University</i>
09:45- 11:50	Panel Discussion  “Significance and a Role of Security Trade Control in Japan”	<i>“<u>Development of Japan`s Security Trade Controls</u>”  Dr. Heigo SATO, Professor, Institute of World Studies, Takushoku University</i>
		<i>“<u>Security Trade Control in MC</u>”  Mr. Hisashi RIKO, General Manager, Security Trade Control Office, Mitsubishi Corporation</i>
		<i>“<u>Export Control in the Age of Terrors</u>”  Mr. Masamitsu MORIMOTO, Export Control Adviser, Center for Information on Security Trade Control</i>
		<i>“<u>Toward Effective Implementation of Security Trade Control</u>”  Mr. Toshio WATANABE, Senior Consultant &amp; Director, MK Technology</i>
11:50- 12:00	General Overview	<i>Dr. Setsuko AOKI, Vice-President, Japan Association of Security Export Control(JAIST) Professor, Faculty of Policy Management, Keio University</i>

## 第10回日本安全保障貿易学会研究大会終了

第10回日本安全保障貿易学会研究大会は約60名の参加者を得て2010年3月7日（日）に同志社大学にて開催された。今回、午前の部自由論題セッションでは「海上貨物の安全確保に向けた米国の取り組みについて」、と「大学における輸出管理：同志社大学工学部の現状を踏まえた提案」の2件の発表があった。後者の発表では輸出管理に関する大学関係者の現状認識と本音が紹介され課題が提示された。いずれの発表も午後の部のテーマセッションにも関連する内容であり議論の幅を広げることができた。午後の部第1セッションでは、このところ関心が高まっている大学における輸出管理を含めた「研究機関における輸出管理」を2つの研究機関のそれぞれ現場の管理状況が、また第2セッションでは国際法および国際政治の観点から、不拡散が失敗した場合の措置として過去数年有志国が実施する「PSIをめぐる諸問題」について発表が行われた。

午前及び午後のセッションを通じて、輸出管理の現状や課題について産、学、官の立場からフロアから多くの質問・意見が出され白熱した議論が展開された。いずれのテーマも、輸出管理の新たな動向を扱っており有益な議論が交わされた。

2010年3月

日本安全保障貿易学会 副会長 青木節子



会場風景



## 日本安全保障貿易学会 第10回研究大会プログラム

日時：2010年3月7日（日）

10:00～12:00 第10回研究大会 自由論題セッション

12:00～13:15 昼食休憩

(13:00～13:15 臨時総会：学会員のみ)

13:15～15:00 第10回研究大会 第1セッション

15:00～15:30 休憩

15:30～17:15 第10回研究大会 第2セッション

会場：同志社大学 室町キャンパス 寒梅館 211号室

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入

TEL：075-251-3120

[http://www.doshisha.ac.jp/access/ima\\_access.html](http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html)

### 第10回研究大会

#### ・午前の部 自由論題セッション

10:00～12:00

報告者：森山 隆氏（公明新聞）

「海上貨物の安全確保に向けた米国の取り組みについて」

(The Feasibility of 100 Percent Cargo Scanning in Question)

討論者：平井 進氏（東北大学大学院）

報告者：佐伯 崇氏（同志社大学）

「大学における輸出管理：同志社大学工学部の現状を踏まえた提案」

(Export Control in University: Proposal Based on the Circumstances of the Doshisha University)

討論者：新留 二郎氏（株東芝）

司会：新留 二郎氏（株東芝）

#### ・午後の部

第1セッション：「研究機関における輸出管理」

13:15～15:00

報告者：跡部 正明氏（(独)宇宙航空研究開発機構）

「JAXAにおける技術情報の輸出管理」

(Transfer Controls of Technical Data in JAXA)

報告者：松ヶ浦 史郎氏（(独)海洋研究開発機構）

「海洋研究開発機構における輸出管理」

(Experiences of JAMSTEC for Export Controls)

討論者：中島 一郎氏（早稲田大学）

司会：村山 裕三氏（同志社ビジネススクール）

休憩 15:00～15:30

第2セッション：「PSIをめぐる諸問題」 15:30～17:15

報告者：森川 幸一氏（専修大学）

「PSI—大量破壊兵器の海上拡散阻止と公海自由の原則との相克—」

(Proliferation Security Initiative: Conflict between the Naval

Interdiction of WMD and the Freedom of Navigation on the High Seas)

報告者：佐藤 丙午氏（拓殖大学）

「オバマ政権の不拡散政策とPSI：2010QDRに見るその位置づけについて」

(Nonproliferation Policy of the Obama Administration and PSI:

Strategic and Tactical Ground of PSI appear in the QDR2010)

討論者：山本 武彦氏（早稲田大学）

司会：青木 節子氏（慶応義塾大学）